

第7期介護保険事業計画における基盤整備について（進捗状況）

（1）第7期計画期間中の施設・居住系サービスの基盤整備目標

区分	定員数	年度	備考（整備予定の圏域）
介護医療院※	38	平成30年度	大朝圏域にて介護療養型医療施設からの転換
	100	平成32年度 （令和2年度）	千代田圏域にて精神科病床からの転換（うち半数程度を町内利用者の見込み）
認知症対応型共同生活介護	18	平成32年度 （令和2年度）	千代田圏域にて整備予定
	18	平成32年度 （令和2年度）	豊平圏域にて整備予定

※介護医療院：住まい・医療・介護・生活支援の4要素を満たし、医学的な管理が必要となった後も、高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう支援する施設。

○介護医療院

大朝圏域の介護療養型医療施設である大朝ふるさと病院について、介護医療院への転換を検討し、令和2年度中を目途に進める予定。計画では38床だったが、現在の介護療養型医療施設分の48床を転換する予定。

○認知症対応型共同生活介護

豊平圏域の豊平診療所内へ令和2年度中に1ユニット9人定員を2ユニット整備予定。

○その他

千代田圏域において介護医療院への転換と認知症対応型共同生活介護の整備については、第7期計画期間中の整備が困難なため、第8期計画期間へ引き継ぐ。

（2）第7期計画期間中の地域密着型サービスの基盤整備目標

区分	定員数	年度	備考（整備予定の圏域）
小規模多機能型居宅介護	25⇒29	平成30年度	芸北圏域にて整備予定
小規模多機能型居宅介護	25	平成32年度	大朝圏域にて整備予定

○小規模多機能型居宅介護

豊平圏域において、「とよひら小規模多機能型居宅介護事業所」が令和2年4月より、現在の場所から豊平診療所内へ移転。これに伴い、定員数は登録定員数29名、通いの定員数15名、宿泊サービスの定員9名となり、「とよひらデイサービス」は通所リハビリテーションに組み込み、廃止する。

○その他（計画外）

大朝圏域において、通所介護事業を行っている「デイサービスセンターやすらぎ」

において、定員 30 名としているが、利用者数が減ってきているため、地域密着型通所介護に移行し、定員数を減らし利用者数を確保したいとの申し入れがあった。令和2年2月14日北広島町地域密着型サービス運営委員会において審議した。北広島町介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画策定委員会に報告し、地域密着型サービスの指定を行う予定。(10月開始予定)